

警察庁によると、2019年の刑法犯の認知件数は74万8559件（確定値）で、前年比6万8779件減少し戦後最少を更新しました。路上強盗やひったくりなどの街頭

犯罪は24万896件で11.5%、空き巣

などの侵入犯罪は5万7808件で同7.9%減、窃盗は53万2565件で同8.5%減、器物損壊等は7万1695件で同8.5%減でした。刑法犯認知件数は2002年をピー

犯罪のない明るい街にしよう

クとして、年々減少を続けています。その要因の一つとして挙げられるのは、官民が一体となって行われる地域の防犯活動の成果によるものと考えられます。これからも、地域の皆さん力を合わせて、様々な犯罪の撲滅と刑法犯認知件数ゼロを目指し、犯罪のない安全・安心な明るい街づくりの活動を強力に推進していくことが重要です。

防犯一口メモ